

情報交換・交流会の報告

新型コロナウイルスワクチン接種が進んでも、必要な感染予防対策について学ぶため、体験ゲーム「感染予防 Play!」で感染対策を考える、情報交換・交流会を実施しました。真島保健センター、大豆島総合市民センター、浅川公民館、安茂里公民館の4会場で、通常の定員の2～3割以下の人数にて行いました。

感染予防 Play! とは 人が集う場を運営する人々が、ガイドラインを参考にしながら「自らが運営する場の適切な感染予防策を構想する力」を養うことを目的に開発されたプログラムです

★ 日頃なじみのある「スーパーマーケットの入り口」や「コロナ感染拡大前のレクリエーションの場面」を使って、①必要な感染予防策を考え、②普段の活動の中で出来るような感染リスクの低い活動を出し合いました。

①家庭医療専門医の奥知久先生の「感染予防の基礎知識」の講話で、感染予防の基本を学びました。



【感想（参加者アンケートより）】

- ・ 予防等がいかに大切か、三密を避ける大切さを再認識できた。
- ・ 慣れっこになって自分がきちんと出来ていないのを痛感した。家族間でもお互いに注意し合わなければならないと思う。
- ・ 「理解するのは簡単。大切なのは実践と工夫」という言葉が印象的だった。
- ・ 実践の体験ゲームが最高でした。改めて参考になったので活かしたい。

②感染リスクの低い活動について

皆さんからのアイデアをご紹介します

【鑑賞する】

- ・ 世界街歩き(NHKBS)
- ・ 持ち寄りレコードを聴く
- ・ 映画やDVD ・ 落語 ・ 音楽

【密にならず、手を触れないレク】

- ・ 新聞で作った輪を足で次の人に回す
- ・ レクリエーションダンス(曲に合わせて)
- ・ 足でボール蹴り ・ 新聞棒で歌に合わせて肩たたきや物回し

【教え合う】

- ・ 毎日心がけていることや気づき
- ・ 自分の経験、体験など子供や孫に伝えたい事
- ・ 料理の工夫について
- ・ 屋号のいわれ



【その他】

- ・ 外で活動 ・ 散歩
- ・ パソコンやスマホ教室
- ・ 音読(物語を一人が音読し、他の人は声を出さずに、口のみ動かす)
- ・ 筆談でおしゃべり ・ 手話を覚える

感染防止の方法について、電話での相談や、実施会場に伺っての確認や助言をしています。ご希望ありましたら地域包括ケア推進課(224-7873)までお問い合わせください。